関門航路［南東水道地区］潜水探査及び浚渫工事のお知らせ

今般、下記により関門航路［南東水道地区］の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近海域の航行船舶は、十分な注意と作業へのご協力をお願い致します。

1. 工事作業期間について（気象等の影響により幾弱変わる事があります。）

地区名	種別	作業船種	隻数	区分	予定期間	作業時間	警戒船
南東水道地区	潜水探査	潜水士船	16隻（最大）	16工区	H30.1上旬～H30.2中旬	日の出～日没	４隻
	浚渫船	ドラグサクション式浚渫船	１隻	16工区	H30.3中旬～H30.6上旬	昼・夜	ー

※予定期間の詳細又は変更については、関門航路事務所ホームページにてお知らせします。（http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kanmon/）

2. 工事作業の場所・・・・・・・・・・・・・南東水道地区（図－1参照）

3. 工事作業の概要及び安全対策

3-1 潜水探査

１）潜水士船は最大16隻を航路に平行になるように配置します。（図－2参照）
２）潜水士船1隻に1名の潜水士を投入します。
３）潜水士船には、国際信号旗「Ａ旗」を示す信号板を揚げ、潜水探査中であることを明示します。（図－3参照）
４）潜水探査作業中は、警戒の標識（緑、黄、緑の吹き流し）を揚げた警戒船4隻（内1隻は国際VHF無線を装備したもの）を配置します。（図－2、4参照）
５）潜水作業中は、作業区域の四隅及び長さ方向が300mを超える場合は中間に俵ブイを配置します。（図－2、5参照）
６）航路中心線から北側で潜水探査を行っているとき、1万GT以上の西航船がある場合は、航路外に退避します。また、航路中心部から南側で潜水探査を行う場合、1万GT以上の東航船がある場合は航路外に退避します。なお、退避の際は俵ブイも撤去します。
７）現地の天候により危険と判断した場合は作業を中止します。（視界2,000m未満、波高0.7m以上、風速10.0m/sec以上）

3-2 浚渫工事

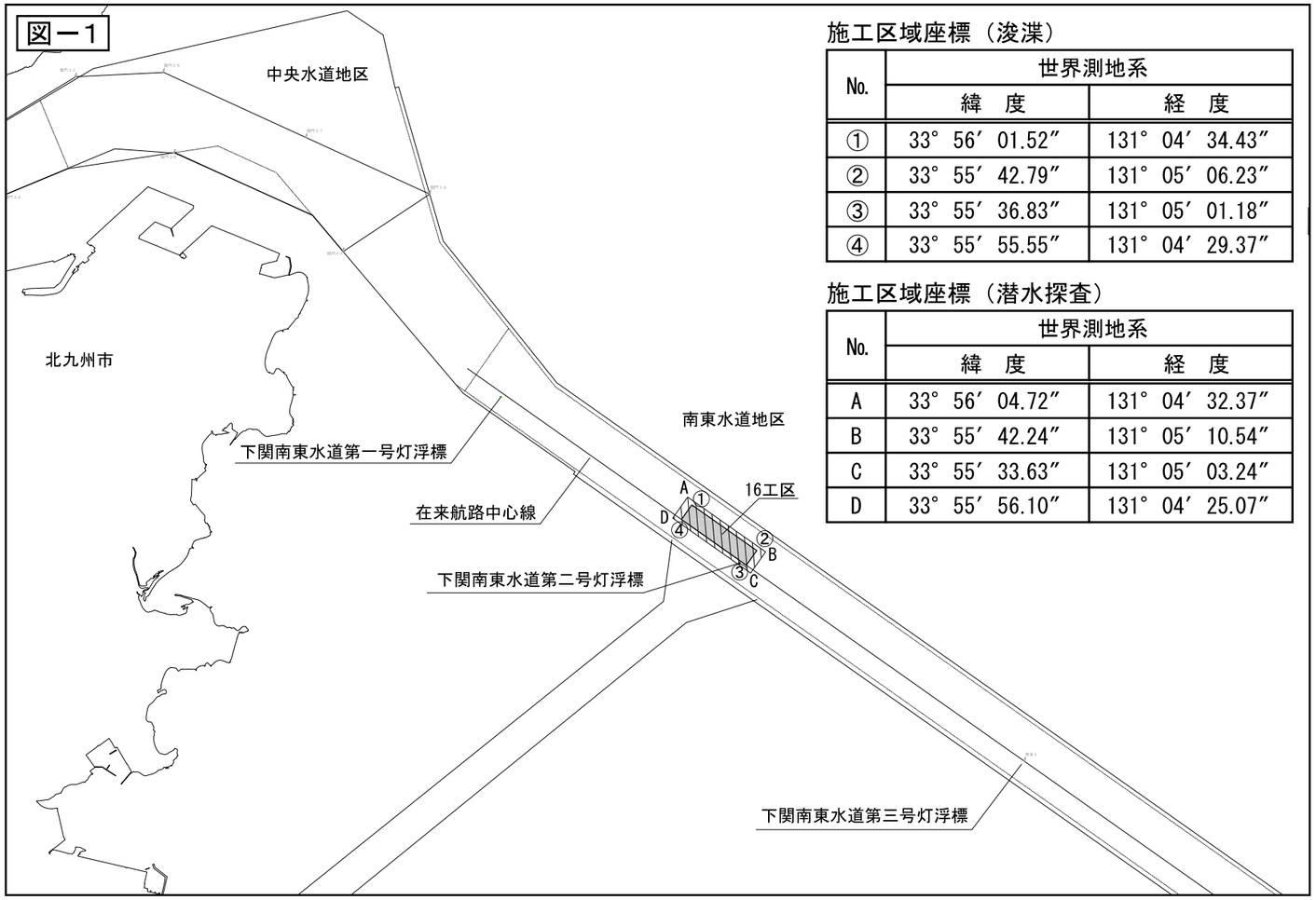
１）国有ドラグサクション式浚渫船『海翔丸』にて、航路に平行に浚渫工事を実施します。（図－6、7参照）
２）浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火及び形象物を揚げ、浚渫工事中であることを明示します。（図－8参照）

4. 情報の提供

作業情報は、下記で取り扱っています。
＜九州地方整備局　関門航路事務所　海洋環境・防災課＞
ＴＥＬ 093－512－8099　　ＦＡＸ 093－512－8106

潜水探査に関する作業情報は、下記でも取り扱っています。
＜関門航路支援業務室＞
ＴＥＬ 083－222－1333　　ＦＡＸ 083－222－1334
E-mail : kanmonanzen@sweet.ocn.ne.jp
HP : http://www.seikaibo.ecweb.jp/kanmon/

図－1



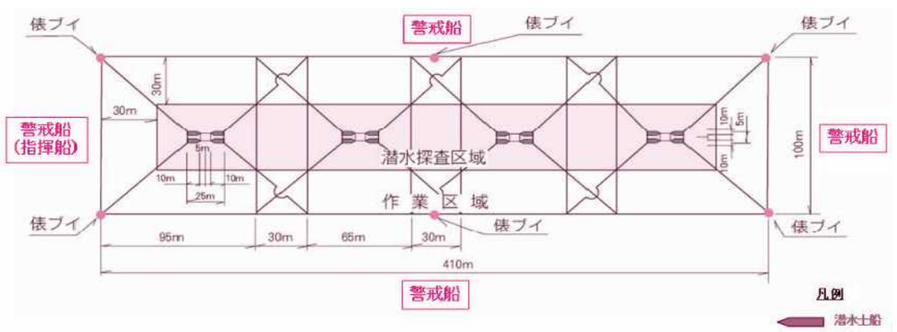
施工区域座標（浚渫）

No.	世界測地系	
	緯　度	経　度
①	33° 56′ 01.52″	131° 04′ 34.43″
②	33° 55′ 42.79″	131° 05′ 06.23″
③	33° 55′ 36.83″	131° 05′ 01.18″
④	33° 55′ 55.55″	131° 04′ 29.37″

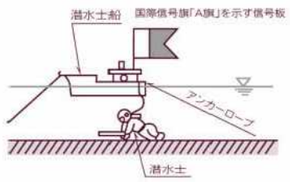
施工区域座標（潜水探査）

No.	世界測地系	
	緯　度	経　度
A	33° 56′ 04.72″	131° 04′ 32.37″
B	33° 55′ 42.24″	131° 05′ 10.54″
C	33° 55′ 33.63″	131° 05′ 03.24″
D	33° 55′ 56.10″	131° 04′ 25.07″

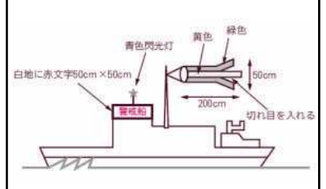
図－2　潜水探査作業船配置図



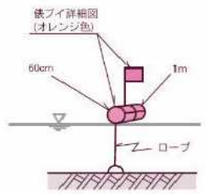
図－3　潜水士船の標識



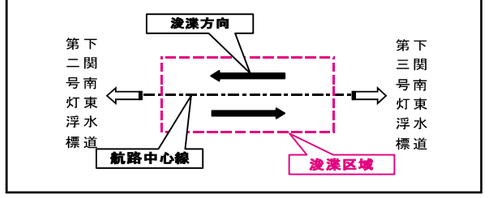
図－4　警戒船の標識



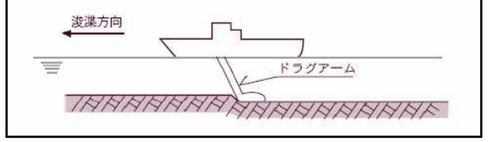
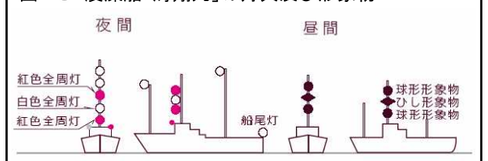
図－5　俵ブイ詳細図



図－6　浚渫船「海翔丸」の作業状況平面図



図－7　浚渫船「海翔丸」の作業状況側面図



図－8　浚渫船「海翔丸」の灯火及び形象物